## 都道府県名:愛知県 氏名:三輪 彰一

## 地域

愛知県の主な河川は、木曽川、矢作川、豊川、庄内川などであり、木曽川・庄内川が濃尾平野を、矢作川が岡崎平野を、豊川が豊橋平野を形成し、地域の社会、経済の発展の基礎となっている。

高度成長期に増大した都市用水や農業用水の需要に対応するため、これまで水資源開発が進められてきた。

その内、木曽川水系及び豊川水系においては、広域的な用水対策を緊急的に実施する必要性から、水資源開発促進法に基づく水資源開発水系に指定され、水資源の総合的な開発により、産業の開発又は発展、都市人口の増加に伴い必要となる用水の確保が進められてきた。

## 略歴

昭和 45 年 04 月~平成 20 年 3 月 愛知県職員

平成20年04月~平成22年3月 (公財)愛知水と緑の公社 理事

平成22年04月~令和2年9月 国土審議会専門委員

平成 25 年 11 月~ (一社)名古屋環未来研究所 副代表理事

## 功績内容

- 〇 愛知県職員として 38 年間従事し、長年にわたり水資源、水道及び工業用水道施策に尽力された。
- また、愛知県退職後においても豊富な経験と知識を活かし、国土審議会水資源開発分科会木曽川部会並びに豊川部会の専門委員として多くの部会で助言を行うなど、水資源行政の推進に貢献された。
- さらに、(一社)名古屋環未来研究所の副代表理事として、水源地域の過疎や高齢化などの問題に対して、課題解決に向けた支援を行うなど社会貢献にも尽力されている。





